

「令和4年度 東京都地域の  
底力発展事業助成」対象事業

# 第11回八王子 北条氏照まつり



10/23(日)

10:00~14:00

雨天順延 10/30(日)

ドローン撮影禁止



会場

八王子城跡



主催:元八王子地区町会自治会連合会 後援:八王子市、八王子市教育委員会、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団、(公社)八王子観光コンベンション協会  
八王子商工会議所、(一社)八王子青年会議所、東京八王子ロータリークラブ、高尾防犯協会、高尾交通安全協会、八王子市町会自治会連合会  
協力:元八王子地域住民協議会、ASA八王子 元八王子、星槎国際高等学校、八王子城跡三ツ鱗会

第11回 八王子

# 北条氏照まつり プログラム

## メイン会場：八王子城跡御主殿

開催日 2022年10月23日(日) 雨天順延  
10/30(日)

開催時間 9:00 ~ 15:00

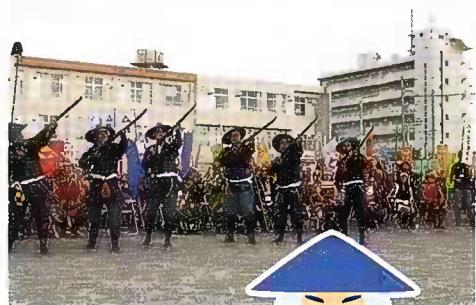
武者行列 10:50 ~ 11:30

北条氏照まつり



※時間はおおよその目安です

| 時間帯         | 催し物   | 出演団体 |
|-------------|---|------|
| 11:30~11:50 | 開会挨拶<br>主催者挨拶<br>来賓紹介<br>来賓代表挨拶<br>武者隊紹介<br>奉行出陣の口上   |      |
| 11:50~12:50 | 武者出陣式 <ul style="list-style-type: none"><li>・太鼓演奏 唐獅子太鼓</li><li>・法螺三聲（高尾山藥王院） 山伏</li><li>・三献の儀 女武者</li><li>・槍の舞 八王子隊</li><li>・忍者演舞 封魔忍者隊</li><li>・居合（抜刀術） 武州中村流</li><li>・火縄銃発砲 寄居隊</li><li>・出陣宣言 北条氏照</li><li>・勝闘 武者全員</li><li>・法螺三聲（高尾山藥王院） 山伏</li><li>・太鼓演奏 唐獅子太鼓</li></ul> |      |



# まつり会場 周辺マップ



## 会場マップ



# 北条氏照と八王子城

北条氏照は、北条早雲を初代とする、後北条氏三代目である北条氏康の三男として、天文 9 年（1540年）に生まれました。初めは武蔵滝山城城主、後に自らが築いた八王子城城主となりました。

永禄 2 年（1559 年）、武蔵滝山城城主であった大石定久の娘を娶り、養子縁組をして大石姓を名乗りましたが、後に姓を北条に復しました。その後、氏照は父氏康に従い主に東方を担当し、兄氏政（北条氏四代）を助けて、北条氏の勢力拡大に貢献しました。氏照は、戦上手であるとともに、外交手腕にも優れた才能を発揮したと伝えられています。

氏照は、過去の武田信玄軍との戦いの経験などから、標高の低い、滝山城（八王子市丹木町・標高 170m）の防衛面での不利を悟っており、武蔵と相模の境に複雑な地形と急峻な裏山を要害とする、少人数でも守りやすい、大規模な山城（標高 460m）を築き、1586～7 年頃に移城しました。山城の山頂に八王子神社が祀られていたため、城は「八王子城」と名付けられました。八王子城周辺の「八王子」という地名はこれに由来しています。

天正 18 年（1590 年）、豊臣秀吉の関東征伐の際には、徹底抗戦を主張し、居城である八王子城は、重臣をおいて守らせ、氏照自身は小田原城に籠もっていましたが、6月23日、少数留守部隊の八王子城は、豊臣方の上杉景勝、前田利家の数万の軍勢の攻撃を受け、激戦の上、一日で落城、守備隊の多くの人々は戦死または自害しました。

八王子城の落城が小田原城開城のきっかけとなり、北条軍は 7 月 6 日に降伏し、氏照は、秀吉から主戦派とみなされて切腹を命じられ、兄・氏政とともに切腹しました。ここに五代続いた小田原北条氏は滅亡し、北条氏が治めていた関東は徳川家康に与えられました。その後、徳川家康は江戸を本拠とする、後の江戸幕府を開く礎を築くことになりました。

（八王子城の落城が小田原城開城の要因となり、また、八王子城跡が戦国時代末期の山城の特徴をよく残し、歴史の大転換期となる、合戦の重要舞台となったことから、2006 年、八王子城跡は日本 100 名城に選ばれました。）

## 「北条氏照」まつり。

この祭りは、日本の戦国時代に、この八王子を治めていた日本の武将「北条氏照」を讃えるものである。

当時の八王子は、関東を守る重要な拠点であった。

私たちは北条氏照の雄姿を後世に伝えるために、この祭りをおこなっている。

私たちは是非とも皆さんにこのまつりを見ていたい。

## The "Hojo Ujiteru" Festival

This festival celebrates the life of Hojo Ujiteru - the military commander who ruled Hachioji during the Warring States period in Japan.

Hachioji at that time was an important base to protect the Kanto region from enemy forces.

This festival is annually held to pass on the brave figure of Hojo Ujiteru for posterity and especially to encourage the people who live in Hachioji today.

We would like to welcome as many people as possible to come and enjoy this festival with us!

ガイダンス施設

